1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman

"Easy Eight" w / T66 TRACKS

35-020 塗装・解説書

1/35 SCALE

ASUKA MODEL

1/35 アメリカ中戦車 M4A3E8 シャーマン"イージーエイト"

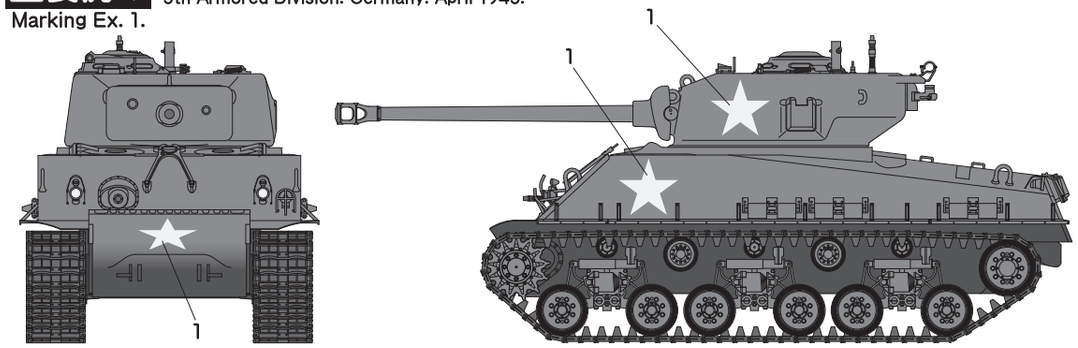
M4A3E8シャーマン"イージーエイト"について

1942年から量産に入ったM4シャーマンはアメリカの工業生産力を生かし、大戦の後半においても連合軍の主力戦車として実戦に投入されてきましたが、ドイツ軍が強力なパンターやティーガーを投入してくると、ノルマンディ上陸作戦以降はその対戦車戦闘能力に限界があることが明らかとなってきました。このため主砲をそれまでの75mm砲から対戦車戦闘能力に優れる76mm砲を搭載し、容積を拡大した新型砲塔が採用されました。M4A3の新型車体に76mm砲塔を搭載したM4A3（76）Wは1944年9月に北西ヨーロッパ戦線に登場しましたが、初期のM4シャーマンから重量が2t近く増加し、路外での機動性に支障をきたす恐れが出てきました。こうした問題を解決するため、キャタピラの幅をそれまでの16.5インチ（42cm）から23インチ（58.4cm）に拡大し、ホイルを複列配置とした新型サスペンションが採用されました。このサスペンションはそれまでの垂直懸架サスペンション（VVSS）に対しスプリングが横置きに改められたため水平懸架サスペンション（HVSS）と呼ばれました。HVSSを採用したM4A3は正式にはM4A3（76）HVSSと呼ばれましたが、HVSS装備のシャーマンの開発名のE8から一般にM4A3E8"イージーエイト"の通称で呼ばれました。M4A3E8は1944年8月から量産に入り、1944年12月のバルジの戦いでドイツ軍の包囲下にあったバストーニュの開放に向かった第4機甲師団の車輌が最初に実戦に投入されました。初期のM4A3E8はシングルピン型のT66キャタピラを採用していましたが、耐久性の問題から程なくダブルピン型のT80に変更されました。第二次大戦中のM4A3E8の多くがこのT66キャタピラを使用しています。M4A3E8は1945年9月までに2539輌が生産され、ヨーロッパでの最後の勝利に貢献したほか、第二次大戦後も朝鮮戦争において国連軍戦車部隊の一翼として奮戦し続けたのです。

塗装例 1

第5機甲師団 1945年4月　ドイツ国内
5th Armored Division. Germany. April 1945.

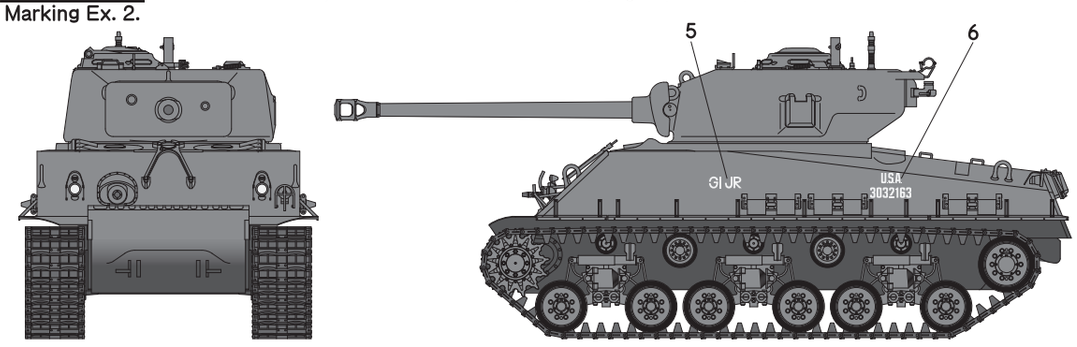
Marking Ex. 1.



塗装例 2

第2機甲師団 第66戦車大隊 1945年2月 ベルギー・トゥーヴェン
66th Tank Battalion, 2nd Armored Division, Teuven, Belgium, February 1945.

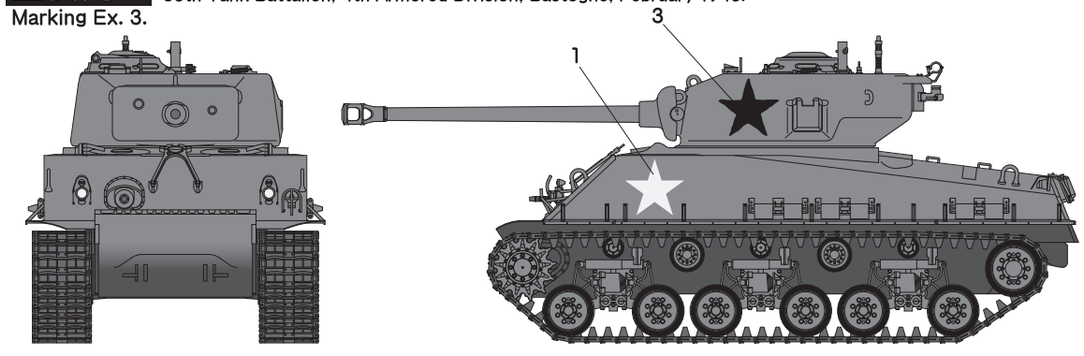
Marking Ex. 2.



塗装例 3

第4機甲師団 第35戦車大隊 1945年2月 ベルギー・バストーニュ
35th Tank Battalion, 4th Armored Division, Bastogne, February 1945.

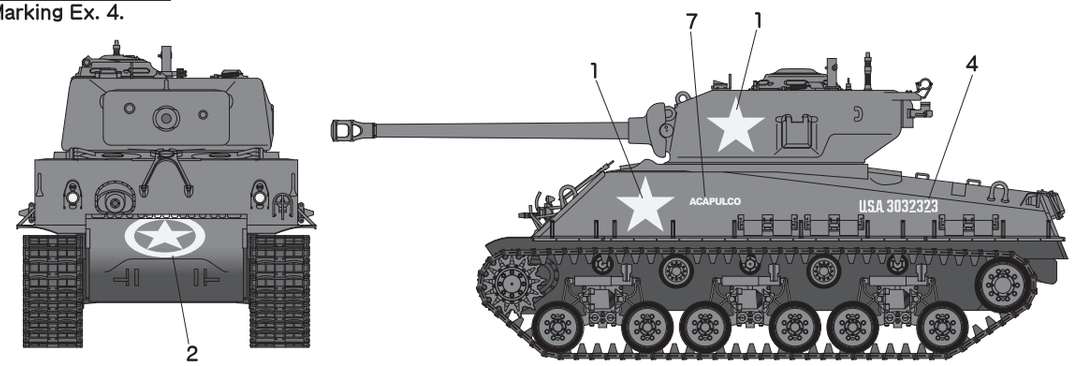
Marking Ex. 3.



塗装例 4-A

第8機甲師団　1945年3月 ドイツ・キルヒヘレン
8th Armored Division, Kirchhellen, Germany, March 1945.

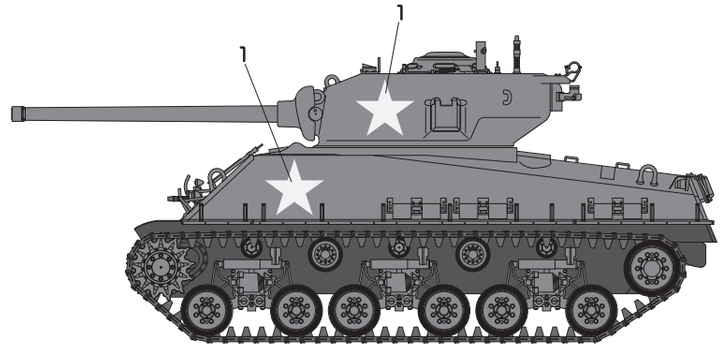
Marking Ex. 4.



塗装例 4-B

第8機甲師団
8th Armored Division
参考例

Marking Ex. 4.



第8機甲師団所属車の別車輌です。
マズルブレーキが未装備の車輌は他の部隊でも確認できます。

This vehicle belongs to the 8th Armored Div. however other examples without muzzle brake can be found in other units.

塗装とマーキング　CAMOUFLAGE & MARKING

■M4A3E8 "イージーエイト"の塗装について

第二次大戦中のアメリカ軍車輌の基本色はオリーブドラブの単色塗装でしたが、その色調は生産ロットや時期によってバリエーションがあったようです。ノルマンディ上陸作戦以降の北西ヨーロッパでも基本色はオリーブドラブでしたが、車輌によっては黒または暗い茶色の幅広の迷彩が施されたケースがありました。車輌の前面と側面、上面には国籍マークの白い星が描かれる規定になっていましたが、白い星は前線では非常に目立つため、黒かオリーブドラブで上塗りしたり、剥がしてしまう場合がありました。また車体前面には所属部隊、側面にはU.S.A.で始まる車輌登録ナンバーが書かれていましたが、大戦後半の車輌では消されていたものも多かったようです。また冬季の場合は白い水性塗料による冬季迷彩が施されました。

カラーナンバー対応表　※近似色です

タミヤカラー TAMIYA COLOR		GSI クレオス・Mr.カラー GSI Creos・Mr.COLOR	
X-7	レッド	3	レッド
X-10	ガンメタル	28	黒鉄色
X-11	クロームシルバー	8	シルバー
X-12	ゴールドリーフ	9	ゴールド
XF-1	フラットブラック	33	つや消しブラック
XF-6	コッパー	10	カッパー
XF-10	フラットブラウン	131	赤褐色
XF-56	メタリックグレイ	28＋30（黒鉄色＋フラットベース）	
XF-62	オリーブドラブ	38	オリーブドラブ2

■デカールの貼り方

1. 貼りたいデカールを切り取ります。
2. 切り取ったデカールを水またはぬるま湯に10秒ほど浸します。
3. 台紙ごと引き上げ、布やティッシュペーパーなどの上に置いて余分な水を吸い取らせます。
4. 台紙の端を持ち、デカールをスライドさせて所定の位置に貼ります。
5. 指先に少量の水をつけて、少しずつすらしながら微調整します。
6. デカール内側に残った水や気泡を柔らかい布や綿棒などで押し出すように取り除きます。
7. 貼ったデカールが充分乾燥するまでは絶対に触らないようにご注意ください。
8. モールドなどの表面の凹凸に馴染みにくいときは、蒸しタオルや市販のデカール軟化剤などを使用してください。

DECAL APPLICATION

① Cut off decal from sheet.
② Dip the decal in tepid water for about 10sec.
③ Place on a clean cloth.
④ Hold the backing sheet edge and slide decal on to the model.
⑤ Move decal into position by wetting decal with finger.
⑥ Press decal down gently with a soft cloth until excess water and air bubbles are gone.
⑦ Until decal dries try not to touch.
⑧ It is convenient to use the hot towel and the decal softener to make them fit surfaces of parts.

アフターサービスについて

部品の不足や不良に関しては、無償で正規の部品を送付させていただきます。
お手数ですが、お客様のお名前、ご住所、電話番号、商品名、不足部品の名称（番号）、数量を明記の上、メールまたはFAX、お手紙のいずれかでご請求ください。またお客様都合による部品ご請求については、実費で部品をお分けいたしております。右記連絡方法のいずれかでご連絡いただければ、弊社から送料を含めた金額および送金方法をお知らせいたします。

メール / FAX での受付
〈Mail〉info@asukamodel.com
FAX.054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先
〒422-8027 静岡市駿河区豊田 3-5-30
有限会社 アスカモデル 部品請求係

ASUKA MODEL
有限会社アスカモデル
asukamodel.com

1/35 U.S. Medium Tank M4A3E8 Sherman

"Easy Eight" w / T66 TRACKS

35-020 組立説明書

1/35 SCALE

ASUKA MODEL

1/35 アメリカ中戦車 M4A3E8 シャーマン"イージーエイト"

組み立てを始める前にお読みください

この説明書は1/35アメリカ中戦車M4A3E8 シャーマン "イージーエイト" [35-020] の組立説明書です。機関銃の組立て、塗装とマーキングは別紙の塗装解説書をご覧下さい。組立を始める前に両方に目を通し、全体の流れをよく把握しておいてください。

- ナイフやニッパーなどの刃物の取り扱いには充分ご注意下さい。商品の性格上先端の尖った部品があります。お取り扱いには充分注意してください。
- 部品とランナーをつなぐゲートには部品の下側に入り込んでいるものと、横に付いているものがあります。注意してカットしてください。
- 部品は接着剤をつける前に接着位置を確認するなど必ず仮組みをして下さい。特に可動部には接着剤がつかないように注意してください。
- 成形品には金型の油や離型剤がついている場合があります。組み立て中の汚れ落としを兼ねて塗装前に中性洗剤で洗うことをお勧めいたします。
- 成形品の接着にはプラスチックモデル用接着剤をご使用ください。

Mark guide: ✕ Do not cement and attn moving. ! Pay attention. ? Choose type of vehicle.

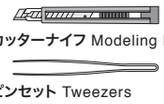
READ BEFORE BUILD

- When assembling this kit, tools including knives are used. Extra care should be taken to avoid personal injury.
- Read and follow the instructions supplied with paints and/or cement, if used.
- Use plastic cement and paints only (available separately).
- Use cement sparingly and ventilate room while constructing.
- Keep out of reach of small children. Children must not be allowed to suck any part, or pull vinyl bag over the head.

〈 取材協力 〉
陸上自衛隊富士学校　・パッケージ原画：島村英二

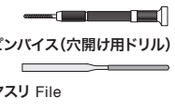
用意する工具 Recommended Tools

プラモデル用ニッパー
Side cutters



カッターナイフ Modeling Knife

ピンセット Tweezers



ピンバイス(穴開け用ドリル) Pin vise

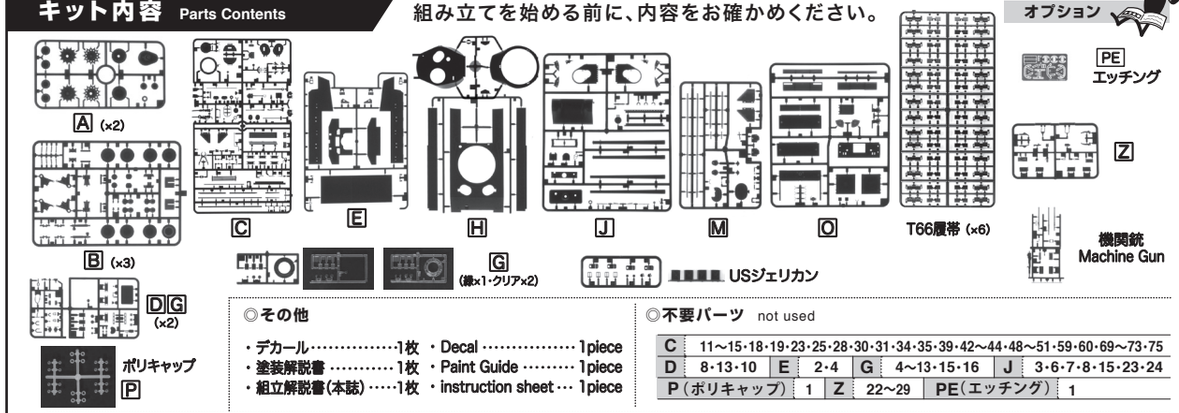
ヤスリ File

〈その他〉
- プラモデル用接着剤 Cement
- プラモデル用塗料 Paint
- 瞬間接着剤 superglue

…などが必要となります。

キット内容 Parts Contents

組み立てを始める前に、内容をお確かめください。



◎その他

- デカール……1枚　・Decal……1piece
- 塗装解説書……1枚　・Paint Guide……1piece
- 組立解説書(本誌)……1枚　・instruction sheet…1piece

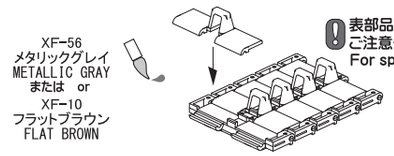
◎不要パーツ not used

C	11～15・18・19・23・25・28・30・31・34・35・39・42～44・48～51・59・60・69～73・75								
D	8・13・10	E	2・4	G	4～13・15・16	J	3・6・7・8・15・23・24		
P(ポリキャップ)	1	Z	22～29	PE(エッチング)	1				

1 キャタピラの組立 Track assembly

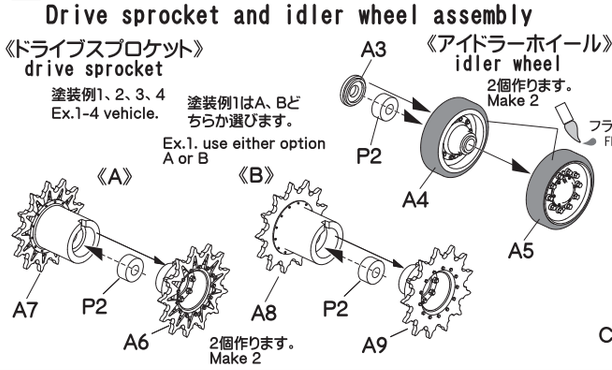
キャタピラは全部で77コマが標準ですが、はじめに76コマまで繋いでおきます。
可動部分に接着剤が付かないように注意します。
接着部分が密着していることを確認し、接着が乾くまで動かさないようにします。
Standard track length is 77 links. For this section make two 76 link tracks.
Connecting central link in section 13. Note avoid applying cement to moving parts.

XF-62 オリーブドラブ OLIVE DRAB
組立図中で特に指示のないところは全て基本色(オリーブドラブ)です。
Where color is not specified please use OLIVE DRAB.

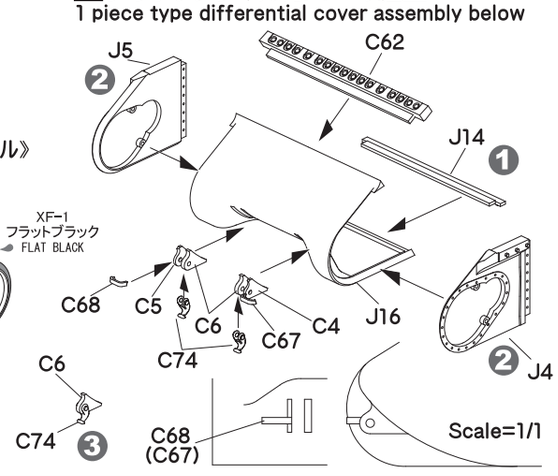


! 表部品は一つだけが予備キャタピラ(N1)です。ご注意ください。
For spare track, use part N1 only.

2 ドライブスプロケットとアイドラーホイールの組立 Drive sprocket and idler wheel assembly

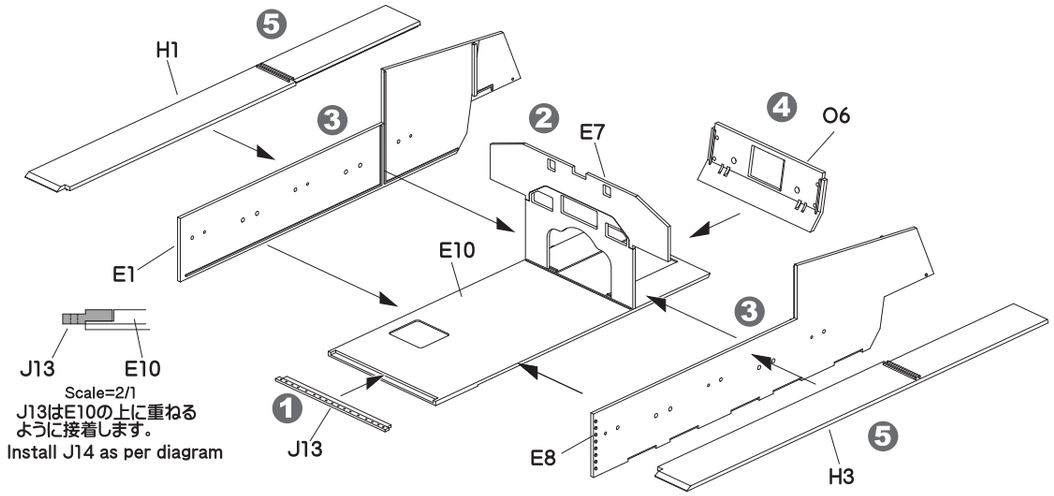


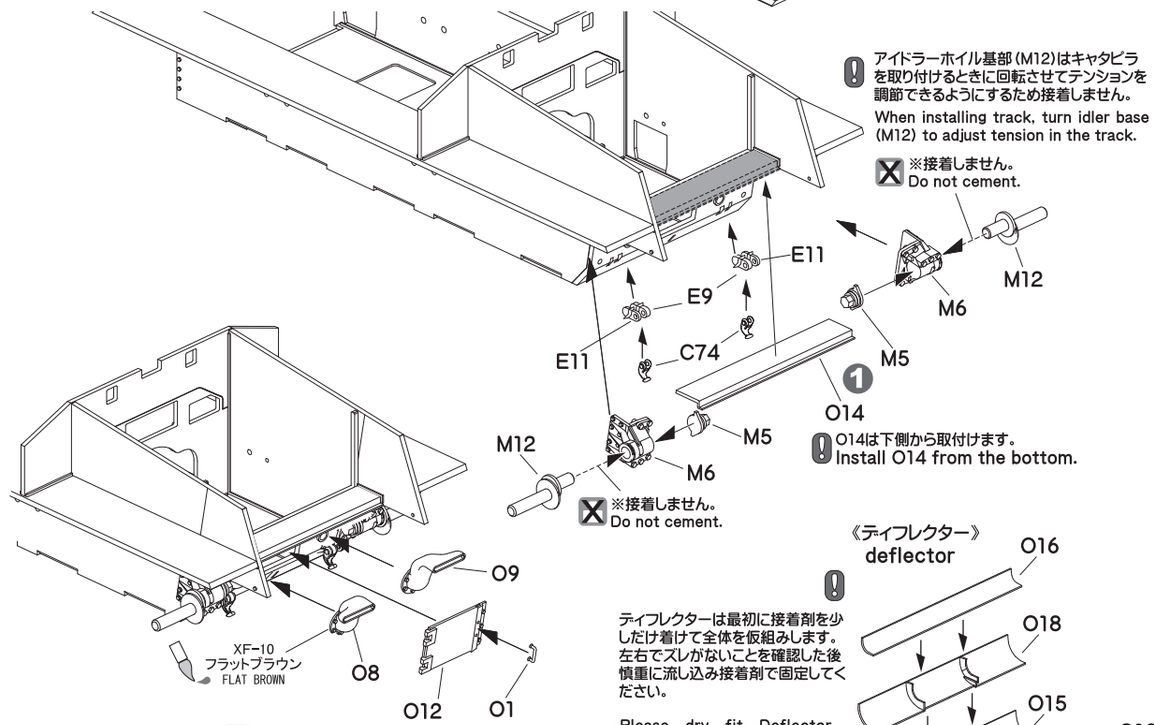
3 デファレンシャルカバーの組立 1 piece type differential cover assembly below



4 車体下部の組立 Hull lower assembly

①から⑤の順番に組み立てます。各部品の仮組みを必ず行い、接着部分の確認をしておきます。
部品を仮組みしてから流し込み接着剤で接着するとよいでしょう。
この工程は中断せずに一度に組み立てて下さい。
Assemble steps ① to ⑤ in sequence.This assembly should be performed without interruption.

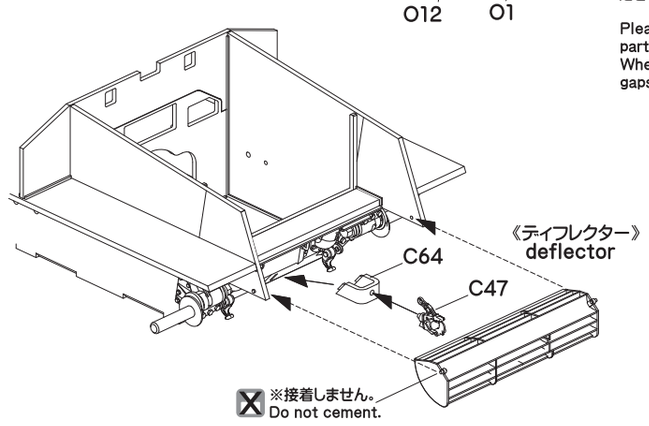


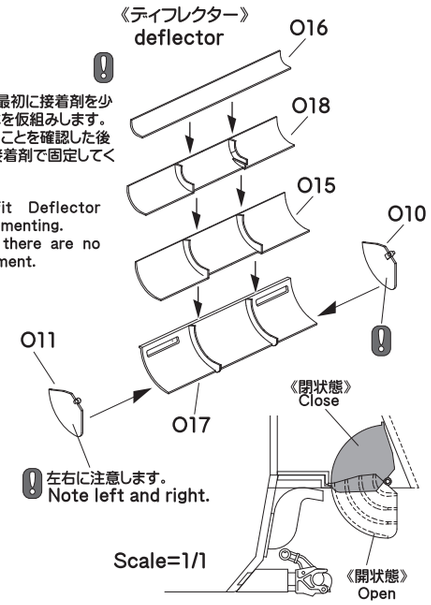


《ディフレクター》 deflector

ディフレクターは最初に接着剤を少しだけ着けて全体を仮組みします。左右でズレがないことを確認した後慎重に流し込み接着剤で固定してください。

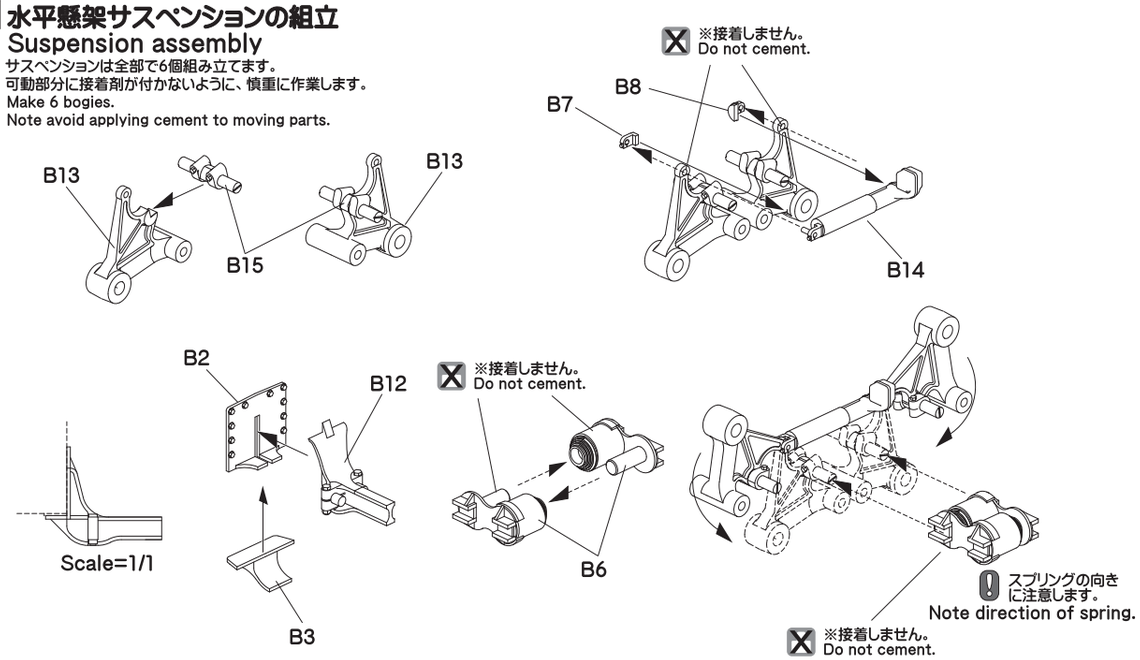
Please dry fit Deflector parts before cementing.
When verified there are no gaps please cement.





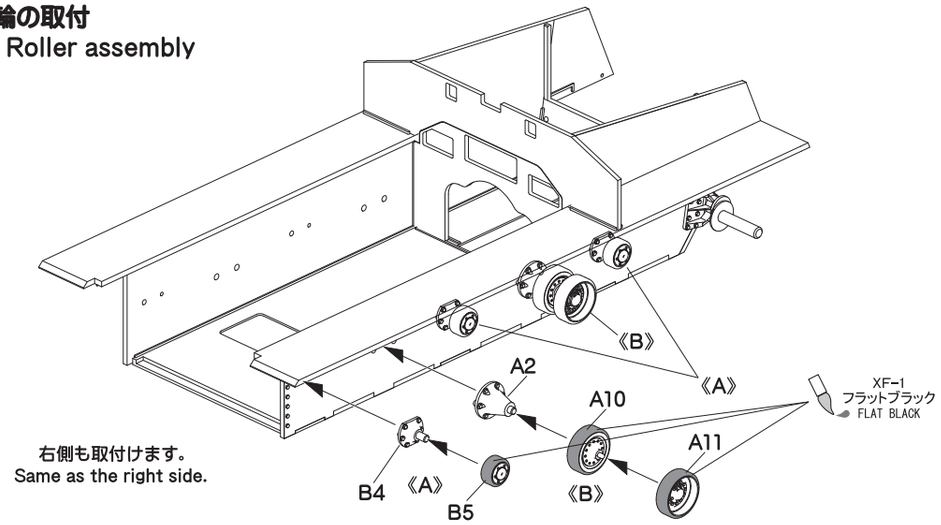
5 水平懸架サスペンションの組立
Suspension assembly

サスペンションは全部で6個組み立てます。
可動部分に接着剤が付かないように、慎重に作業します。
Make 6 bogies.
Note avoid applying cement to moving parts.



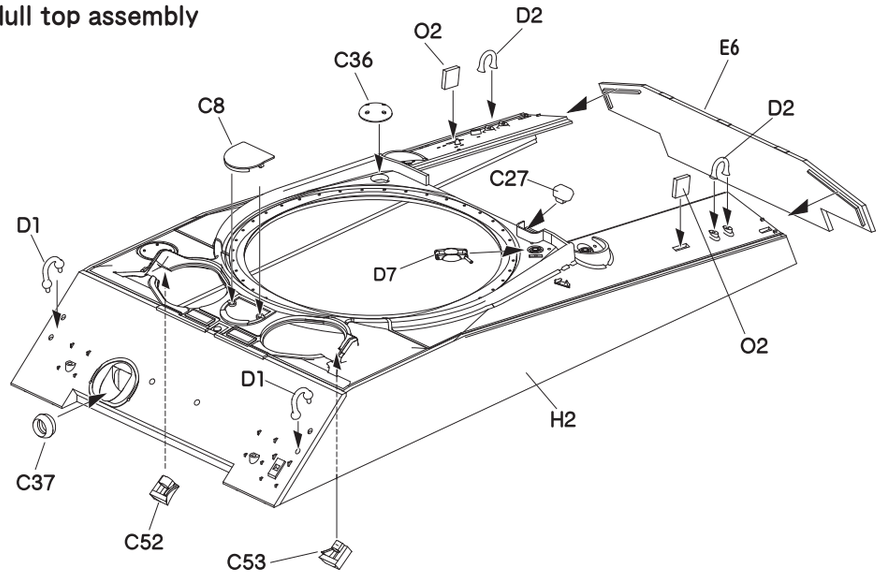
サスペンションアームを可動させるため、
B10はB12の先端部のみに接着します。
Suspension arm moves so apply cement
to the ends of B10 and B12 only.

6 上部転輪の取付
Return Roller assembly



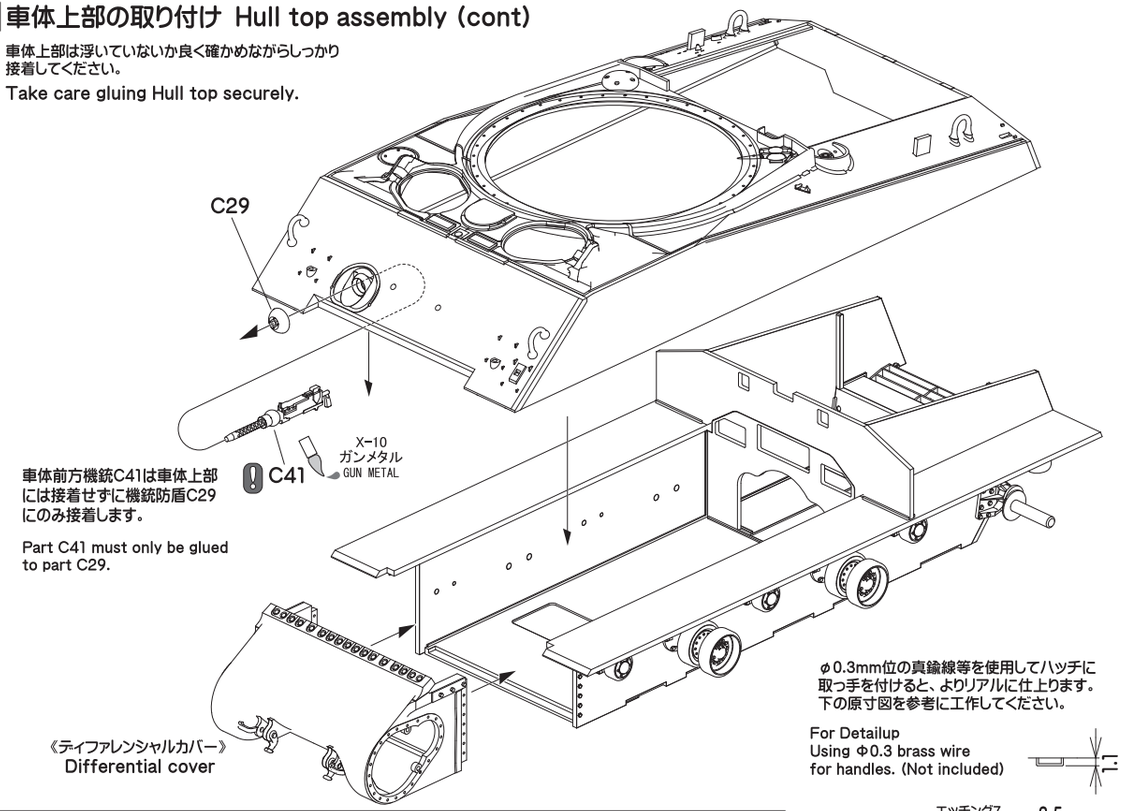
右側も取付けます。
Same as the right side.

7 車体上部の組立 Hull top assembly



8 車体上部の取り付け Hull top assembly (cont)

車体上部は浮いていないか良く確かめながらしっかり
接着してください。
Take care gluing Hull top securely.



車体前方機銃C41は車体上部
には接着せずに機銃防盾C29
にのみ接着します。

Part C41 must only be glued
to part C29.

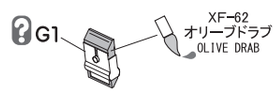
φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに
取っ手を付けると、よりリアルに仕上ります。
下の原寸図を参考に工作してください。

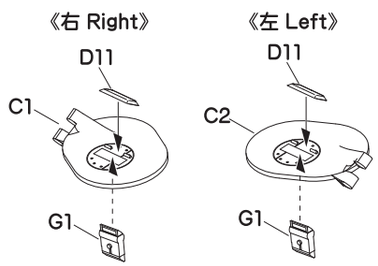
For Detailup
Using Φ0.3 brass wire
for handles. (Not included)

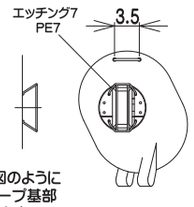
9 ドライバーズハッチの組立
Drivers hatch assembly
Hatch reverse side assembly

ペリスコープ(G1)は透明か色付きの
部品を選びます。

The periscope (G1) is a clear part.
Paid as per the color annex





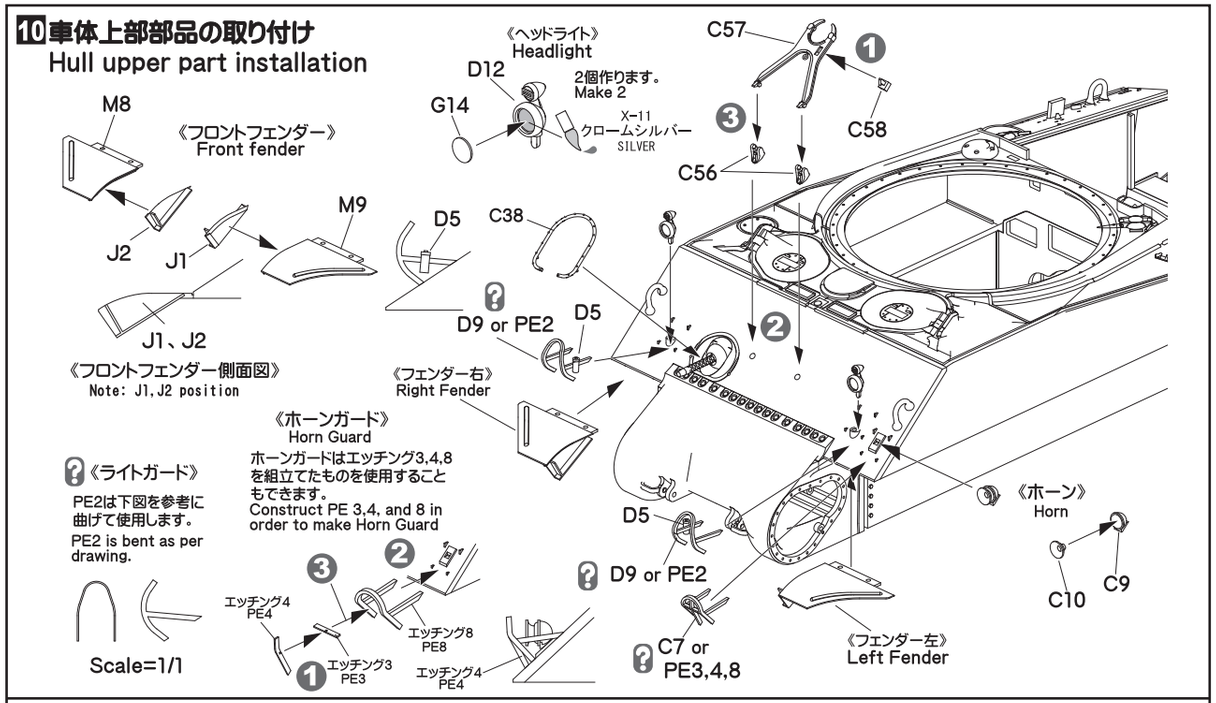


エッチング7を図のように
曲げてペリスコープ基部
の上に取り付けます。

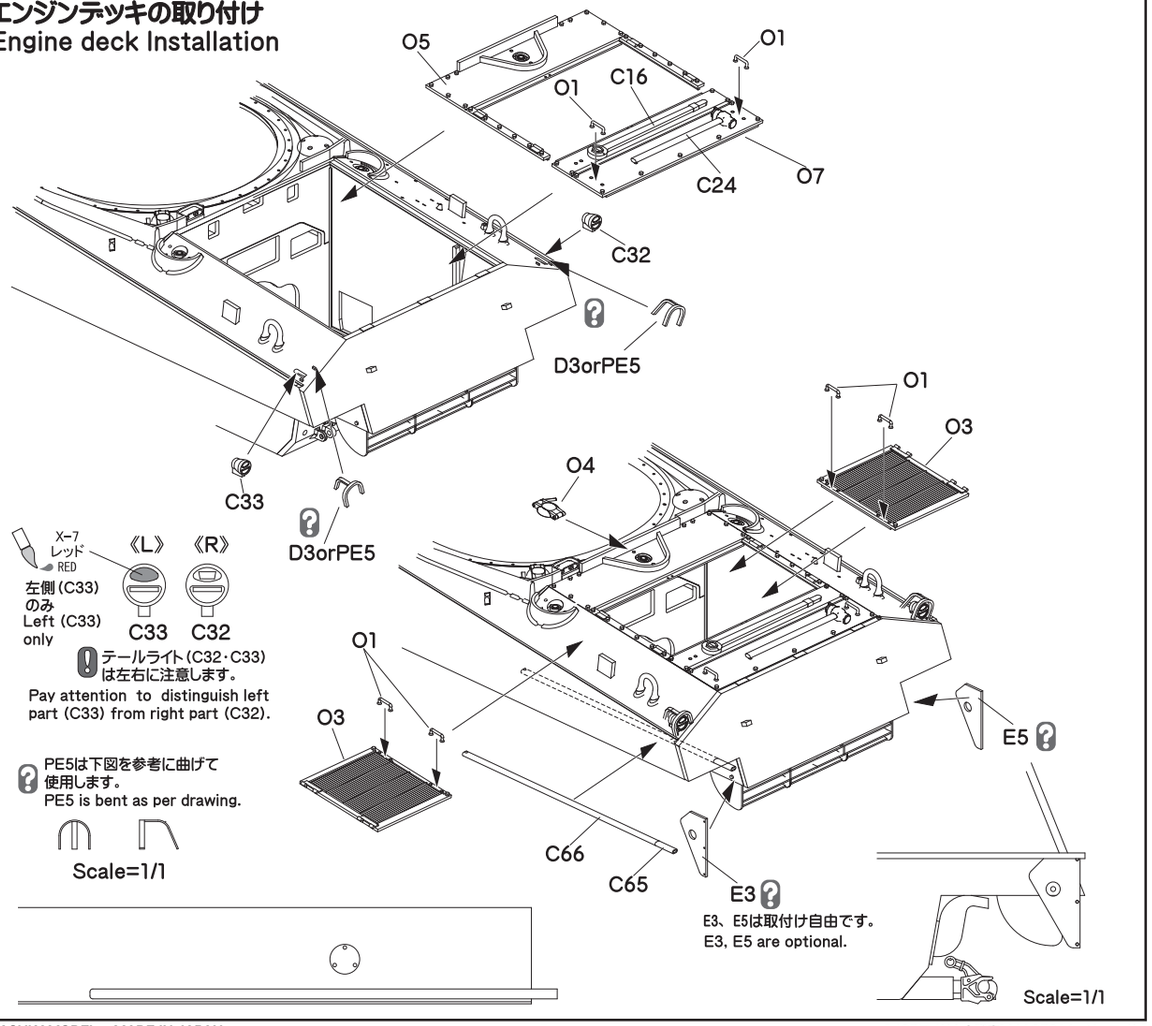
PE7 is bent as per drawing.

Scale=1/1

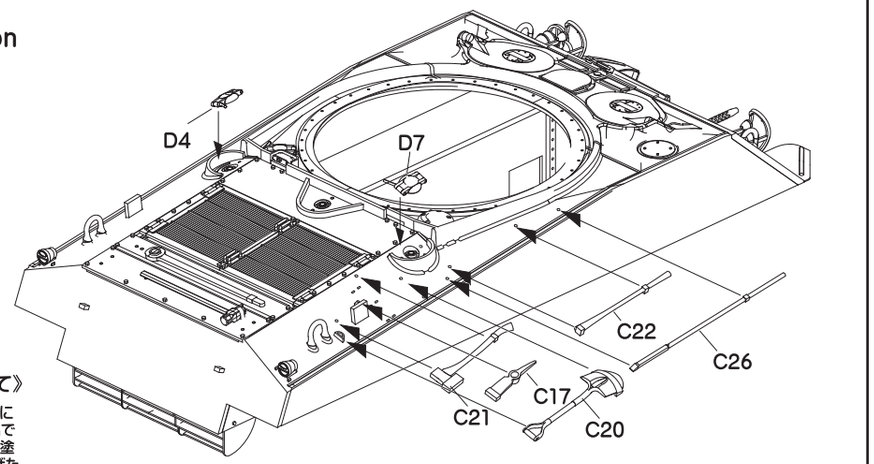
10 車体上部部品の取り付け
Hull upper part installation



11 エンジンデッキの取り付け
Engine deck Installation



12 車体右側部品の取り付け
Hull right side installation

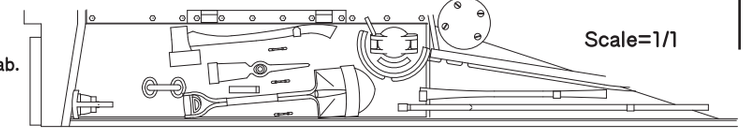


《OVM(車外装備品)の塗装について》

アメリカ軍の軍用車輌の車外装備品は基本的にオリーブドラブで塗装されていました。本製品でも塗装指示は車体色との前提に立ち、個別の塗装指示はしてありませんが、使用中に色がはげたり、汚れなどの表現をすると、単調にならずにリアルになるでしょう。

Hull Accessories Painting Guide

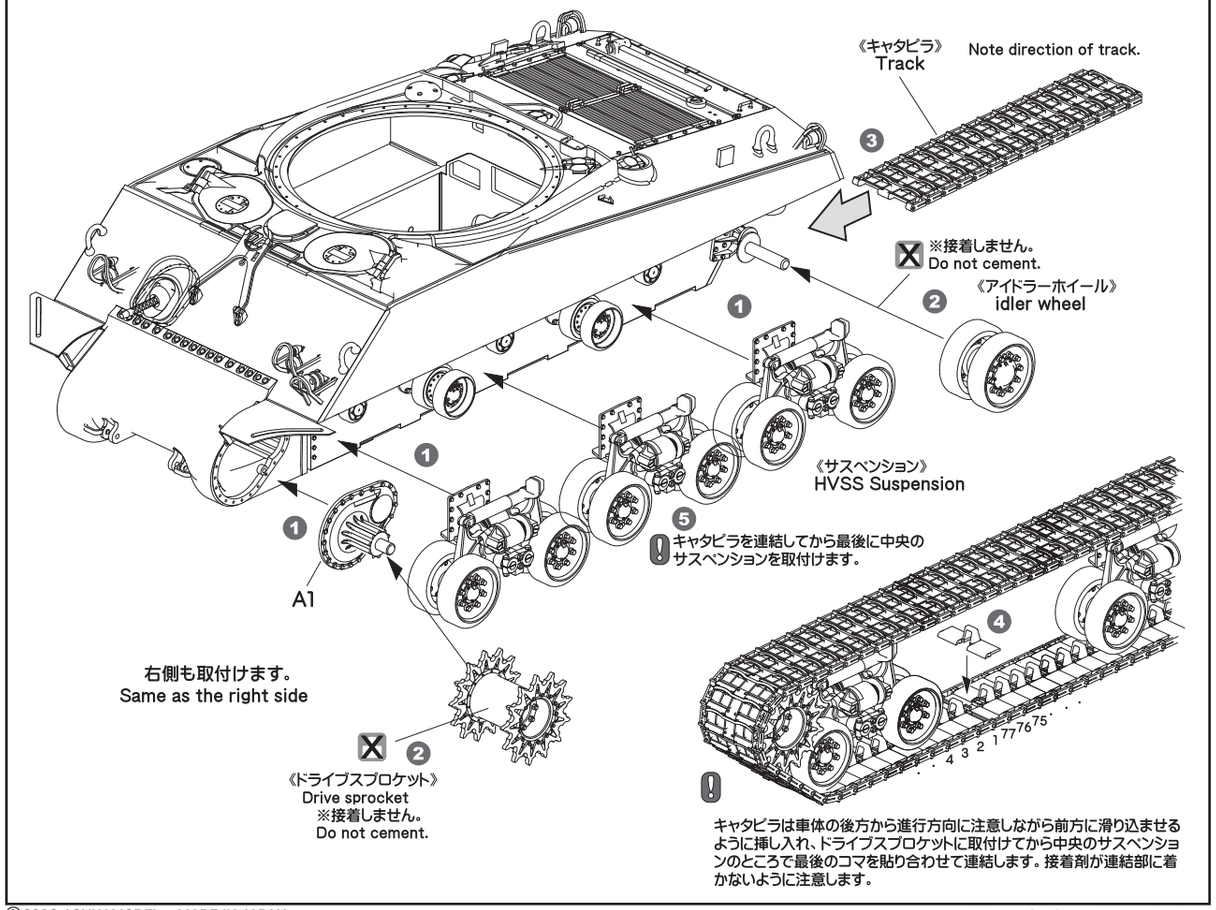
American hull accessories were basically olive drab. Even when painted the paint usually came off showing the olive drab or base material.



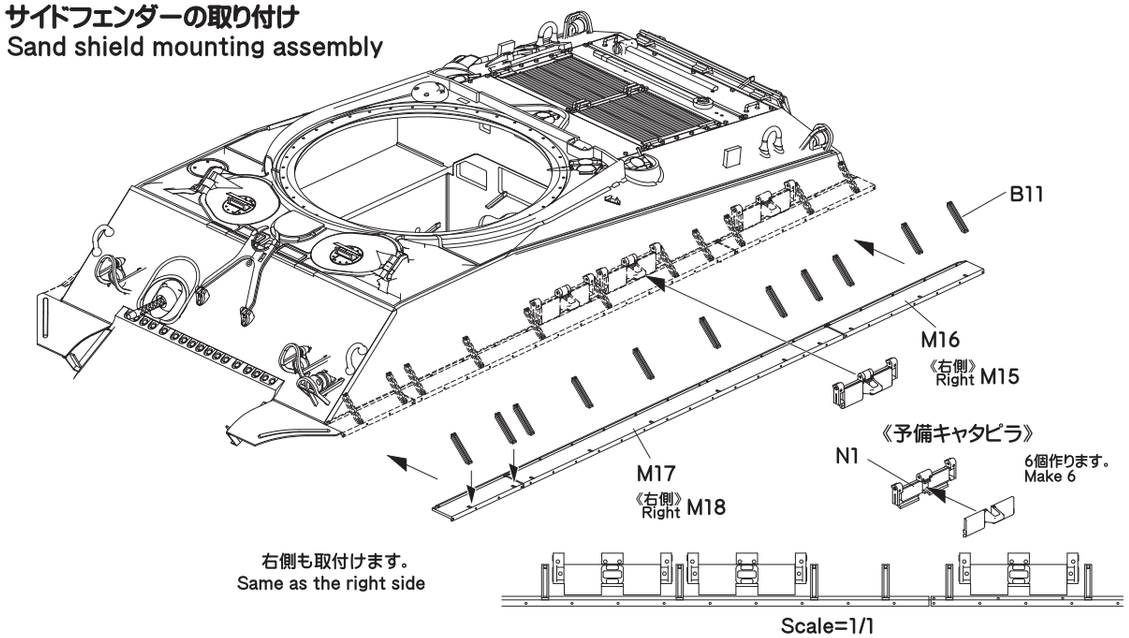
13 キャタピラの取り付け HVSS Suspension

車体にファイナルドライブ(A1)とサスペンションを接着し、良く乾燥させます。ドライブスプロケットとアイドラーホイルを取付けてからキャタピラを連結し、アイドラーホイルの基部を慎重に動かしながらテンションを調整します。

《Assemble steps 1 to 6》
1.Install A1 and front and rear bogies. Allow cement to dry.
2.Install drive sprocket and idler wheel.
3.Wrap track around drive sprocket and idler wheel from rear direction.
4.Insert last track link from the inside and take care of fit.
Last link install position should be in front of central bogie as per diagram.
5.Attach central bogie after installing track.
6.Turn idler base (M12) to adjust tension in the track.

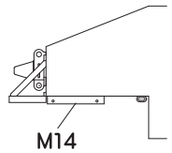


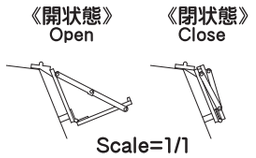
14 サイドフェンダーの取り付け
Sand shield mounting assembly



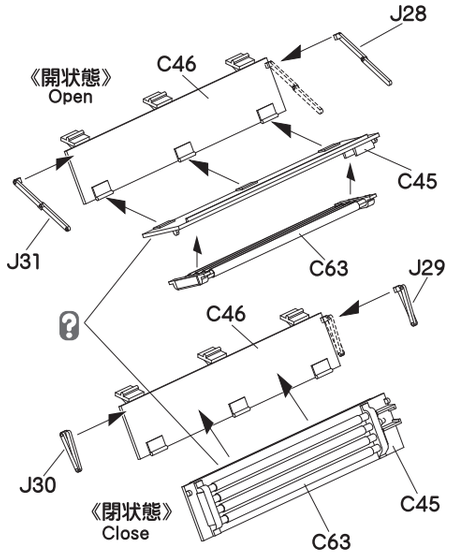
15 リヤパネル部品の取り付け
Rear panel attachments.

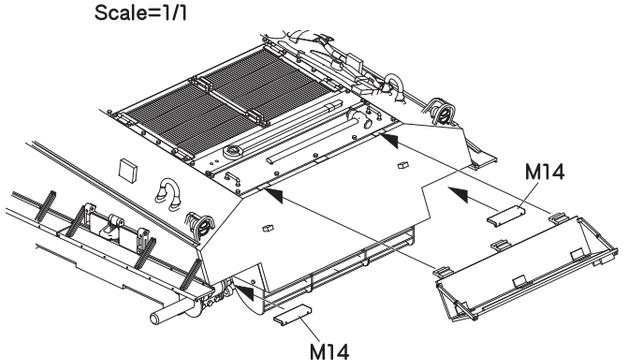
荷物ラックは開状態か閉状態を選んで組立てます。
各部品の位置を仮組みでよく確認してください。
Stowage rack can be assembled in a closed or open state. Please trial fit each part.



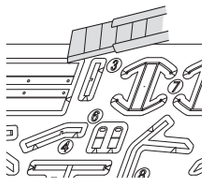


《荷物ラック》
Stowage rack





《エッチングパーツについて》 Photoetch Guide

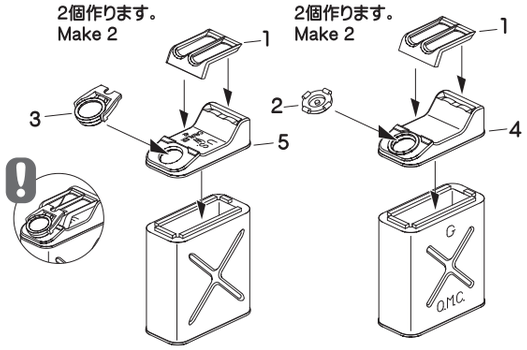


- ●エッチングパーツの切り出しには、下に厚めのプラ板等を敷いてカッターナイフなどで慎重にカットして下さい。切り出しの際、下が柔らかいとパーツが変形します。
- ●切り出したエッチング部品はブリッジ（繋ぎ目）の部分をヤスリなどできれいに成形してください。
- ●直線部分の曲げ加工には専用工具を使うか、金尺等をしっかり当ててずれないように丁寧に曲げてください。
- ●接着にはゼリー状瞬間接着剤か透明のゴム系接着剤をお使いください。
- ●塗装面には金属用プライマーを塗布してください。

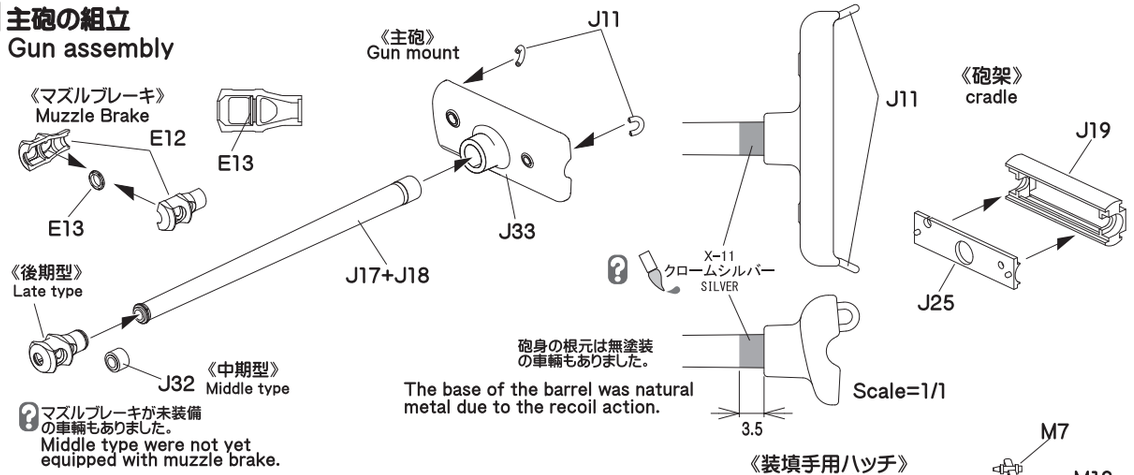
ジェリカンの製作
Jerry can assembly

《水用》water
2個作ります。
Make 2

《ガソリン用》gasoline
2個作ります。
Make 2



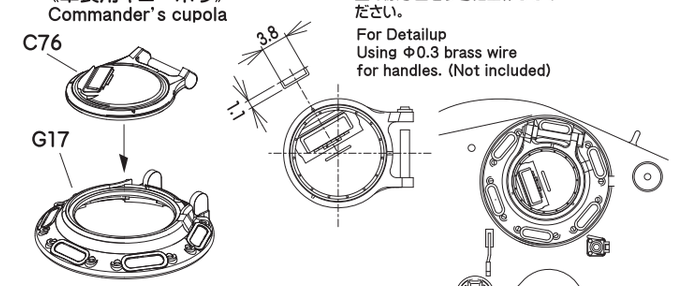
16 主砲の組立
Gun assembly



マズルブレーキが未装備の車輌もありました。
Middle type were not yet equipped with muzzle brake.

17 キューポラの組立
Cupola Assembly

《車長用キューポラ》
Commander's cupola

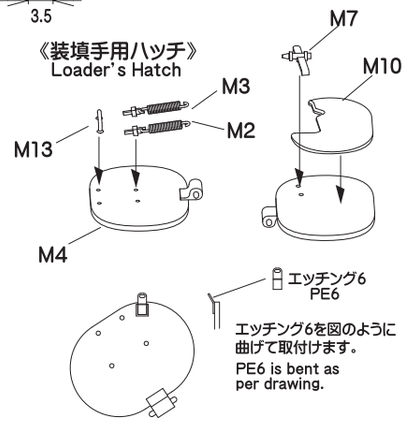


φ0.3mm位の真鍮線等を使用してハッチに取っ手を付けると、よりリアルに仕上ります。
上の原寸図を参考に工作してください。
For Detailup
Using Φ0.3 brass wire for handles. (Not included)

表側はビジョンブロックの部分を塗り残して車体色で塗装します。
そのままでは砲塔との合わせ部分が見えてしまうので、裏側はグレーなどで塗装するとよいでしょう。
Paint the cupola body color except for the vision blocks.
Paint the inside sides of the vision blocks grey but not the actual vision block which remains clear.

《キューポラ取付角度》
Install as per diagram.

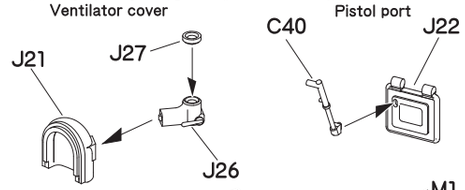
《装填手用ハッチ》
Loader's Hatch



エッチング6を図のように曲げて取付けます。
PE6 is bent as per drawing.

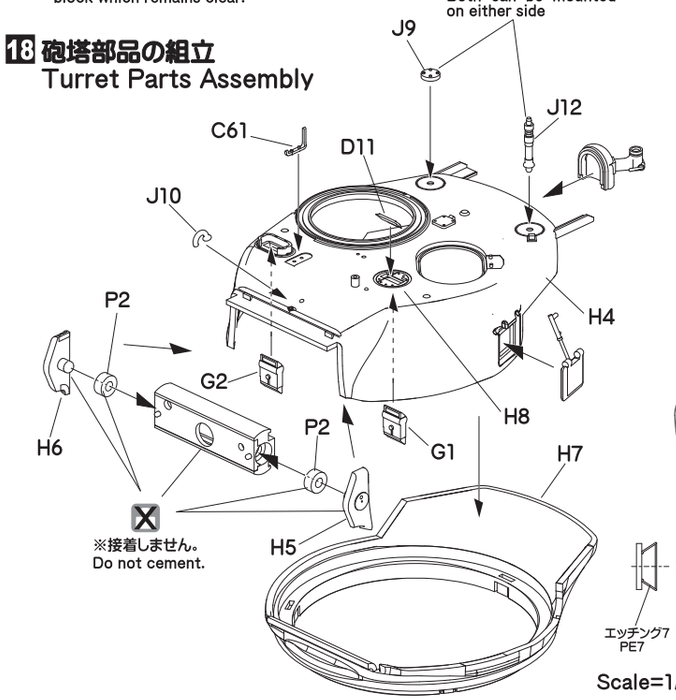
《ベンチレーターカバー》
Ventilator cover

《排莢ハッチ》
Pistol port

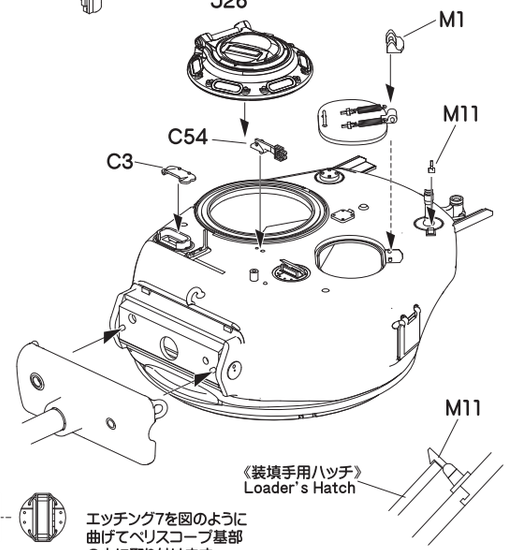


18 砲塔部品の組立
Turret Parts Assembly

左右どちらも取付けできます。
Both can be mounted on either side

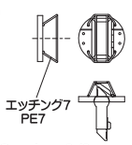


※接着しません。
Do not cement.



《装填手用ハッチ》
Loader's Hatch

M11取付位置
Install as per diagram.



エッチング7を図のように曲げてペリスコープ基部の上に取り付けます。
PE7 is bent as per drawing

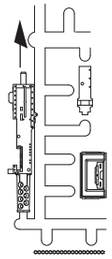
Scale=1/1

19 M2重機関銃の組立　M2 Machine Gun Assembly

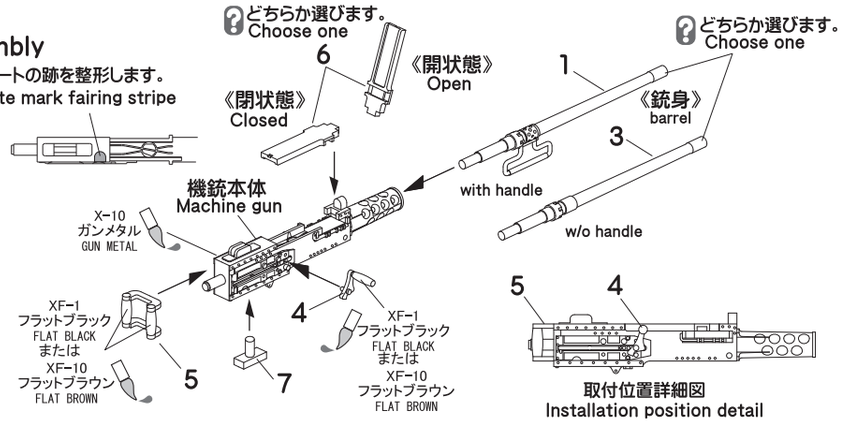
このページでは砲塔上に取り付けるM2重機関銃の組み立てを行います。
非常に細かい部品が多いので慎重に組み立てましょう。
This page instruction assembles M2 machine gun.

A 機銃本体の組立
Machine gun assembly

ランナーから機銃本体を引き抜きます。
Pull the machine gun itself from the runner.

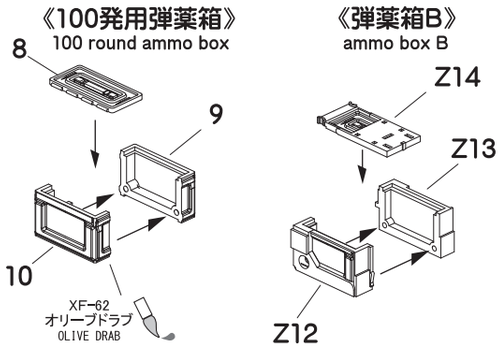


ゲートの跡を整形します。
Gate mark fairing stripe

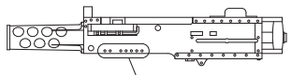


取付位置詳細図
Installation position detail

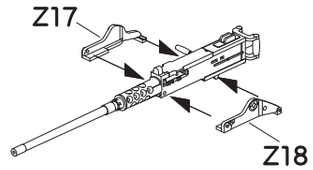
B 弾薬箱の組立
Ammunition box assembly



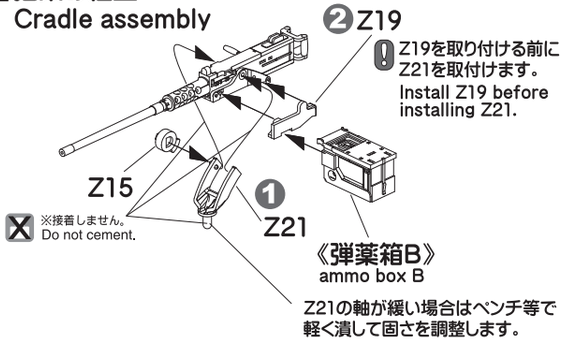
C 揺架の取付
Cradle installation.



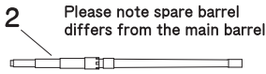
揺架の付く部分のリベット模様を削り取ります。
Shave off rivet pattern.

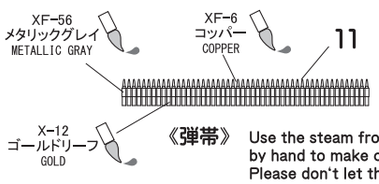


D 揺架の組立
Cradle assembly



《予備銃身》Spare barrel　本体から取り外した状態で使用するときはこの部品を使います。
Please note spare barrel differs from the main barrel

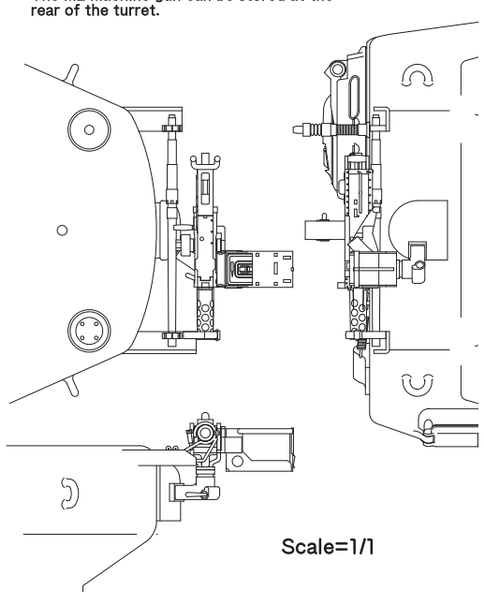




《弾帯》
弾帯はお湯に漬けながらゆっくり何回か手で曲げて馴染ませます。急激に曲げると折やすいのでご注意ください。
Use the steam from hot water and bend slowly by hand to make cartridge belt more realistic. Please don't let the belt bend suddenly.

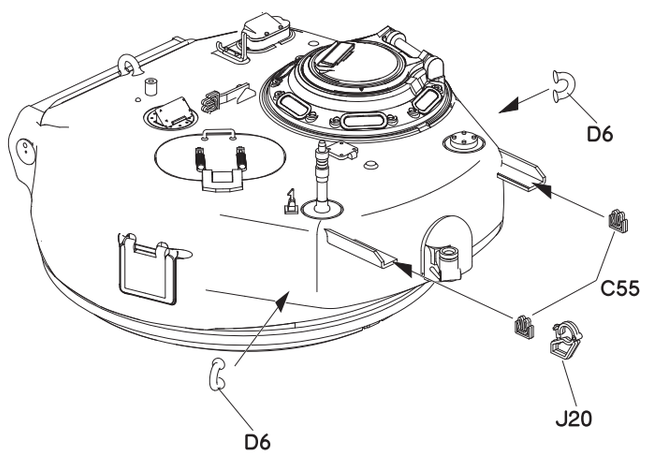
《参考》Reference

機銃は僅かな工作で砲塔後部に収納することもできます。
The M2 Machine gun can be stored at the rear of the turret.

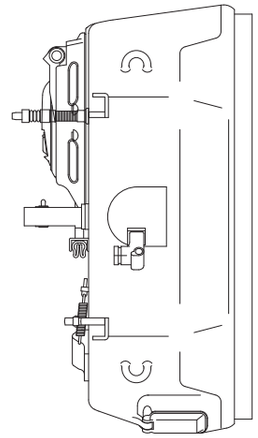


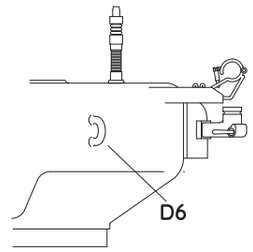
Scale=1/1

20 砲塔後部の組み立て
Assembling the rear turret



Scale=1/1



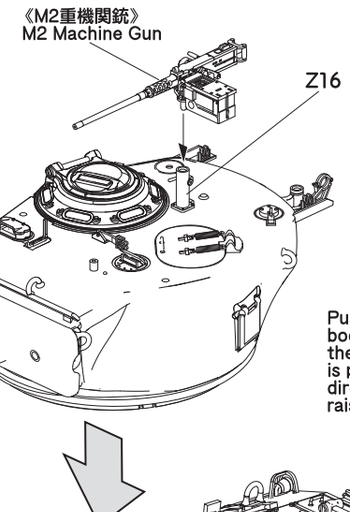


21 M4A3E8の完成
M4A3E8 Completion

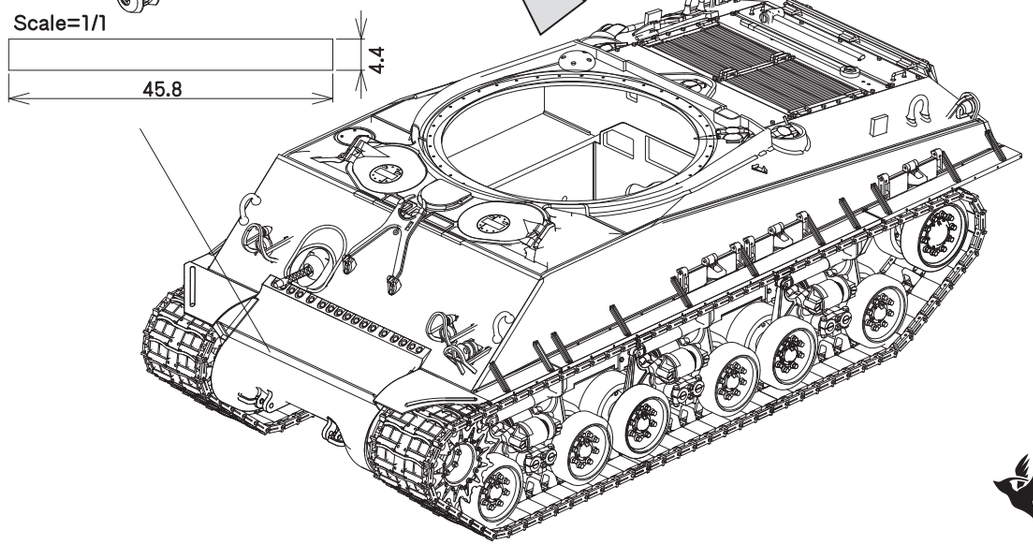
砲塔を車体に水平にクリックがあるまで押し込みます。
360度どの方向からも着脱が可能です。
砲塔を外すときは持つ所に注意しながら慎重に車体から持ち上げます。

ジェリカンや弾薬箱は自由に配置してください。
車体前面のフェンダーの間に荷物受けとして板などを取り付けている例があります。下の原寸図を参考に0.5mm厚程度の板で自作してもよいでしょう。
なおガソリン用ジェリカンは車体前面には通常搭載しないのでご注意ください。

The boards between the fenders in front of the body are examples of storage facilities being installed.You can construct this yourself with 0.5 mm boards by referring to the drawing below.



Push the turret horizontally to the body The turret is pushed in until there is click. Installation and removal is possible from 360 degrees in every direction. When removing the turret, raise from the body carefully.



メール / FAX での受付
〈Mail〉info@asukamodel.com
FAX.054-203-2103

お手紙での受付 / 部品代金の送付先
〒422-8027 静岡市駿河区豊田 3-5-30
有限会社 アスカモデル 部品請求係

ASUKA MODEL
有限会社アスカモデル
asukamodel.com